

市議会だより

大月市

令和4年11月30日発行 No.168

特集

対談／若手移住者と大月市議会



CONTENTS

- ・ 特集（対談）
【若手移住者と市議会】…………… P. 2～
- ・ 令和4年第3回（9月）市議会定例会
（主な議案の内容）…………… P. 4～
- ・ 決算審査特別委員会…………… P. 6～
- ・ 議決結果等一覧表…………… P. 8
- ・ 代表質問／一般質問…………… P. 9～16
- ・ 市議会だよりアンケート…………… P. 17
- ・ 議会日誌…………… P. 18

オープンした大黒屋

特集

『移住者目線で大月市の魅力を見直し掘り起こす』

～観光と農業～

対談 若手移住者 × 市議会

若手移住者が大月市の魅力をSNSで発信し、観光や農業で新たな挑戦をしていることをご存じですか？頼もしく心強い若手移住者たちを改装中の名勝猿橋大黒屋にお訪ねすることにし、この機会に、耕作放棄地を開墾して米・麦・大豆づくりをしている若手移住者グループにも声をかけ、交流・意見交換会を開催することになりました。市議会として提案された課題を受け止めるとともに、若手移住者の熱量に応えられる議会活動をしていきたいと感じる機会となりました。

総務産業常任委員会

- ・志村和喜委員長
- ・藤本実副委員長
- ・小原文司委員
- ・鈴木基方委員

本大震災のあと移住先を探して全国を旅して、大月市を選ばせてもらいました。中山間地でもここにも沢水があり、歴史の古い土地でもあります。東京に近いのに豊かな里山が残されていて、魅力を感じています。

・夫は農業、私は大黒屋さん再開の事業に参加しています。先輩移住者に助けられています。

*コワーキングとは、事務所スペース、会議室、打ち合わせスペースなどを共有しながら独立した仕事を行う共働ワークスタイルを指す。

人と人の距離の近さが大月市の魅力！

僕らの「地方創生活動」にも、みなさん寄り添って考えてほしい

り添って考えてほしい

【若手移住者】

若手移住者が若手移住者を呼び込むために

頑張っていることに感動した

【市議会】

○ 参加された移住者の皆さん

しました。

・ユーチューブで大月市を発信してきました。市内の飲食店はほぼすべて回りましたし、秀麗富岳十二景を眺めるため登山も

・ウェブデザインを本業にしています。移住当初はデザインの発想が浮かぶのではと。でも現在はどっぷり地域活動に参加

・ウェブエンジニアを本業にしながら、猿橋遊覧船の船頭をしています。

・私は仲間に「地方創生活動をしている」と誘われて、埼玉から移住してきました。今は遊覧船に参加していますが、11月開業予定の大黒屋2階コワーキングの運営をします。

・国立から移住し、梁川、鳥沢猿橋で無農薬無肥料の農業に取り組んで4年になります。東日



総務産業常任委員会の議員

○ 大月市に住んでみて必要だ
と思うものは何ですか？
(市議会)

・救急車を呼ぶ大げがをして実感したのですが、大月市立中央病院には医師がいなからと上野原市立病院に運ばれました。通院の負担もあるので、医療は充実してほしいです。

・本業やまちおこしの中で企業から大月市で何かしたいとお話



若手移住者の皆さん

がありました。何か大月市のために役に立てるのではと盛り上がりしましたが、「前例がない」という行政の壁にぶつかり、チャンス逃してしまいました。

大月市は注目されていて、流れが来ているのにもったいないなと。新しいものや若者世代の考えに寄り添って考えてほしいです。

・大月市では車がないと生活が不自由です。あのバスにも人が乗っていないと気になります。何か改善できないでしょうか。

・箆子では移動販売車が週に何回か来て高齢者が待っていて買い物をしていきます。買出しにも出かけられたら楽しいだろうなと思います。

・農業をやりたい人が東京から来ますが、田畑や家の紹介をしてほしいです。

・猿橋遊覧船の運航中に、若者たちが大きな音で音楽を流しながら川に飛び込んだり横断したりしていて、危ないなど。看板などはつけられないですか。

○ 猿橋遊覧船の運航はどう
していますか？ (市議会)

・本業で生計を立てて、予約があれば運航する状況です。予約はじゃらんネット経由で、大型連休中は日に4便程度運行しました。

○ 大月市で農業を始めてどう
ですか？ (市議会)

・機械の購入などもあり、まだ成り立つ状況ではありませんが、やりがいと手ごたえを感じています。耕作放棄地を再生して農業をしていて、地域で困っていることに対応して感謝されることは気持ちいいですし、そんな活動をした人はずいぶんいます。

○ これからの地域活動の抱負
を教えてください。(市議会)

・大月市に興味を持っていて人を地域おこし協力隊として受け入れたいのですが、私たちは受け入れ団体にはなれないと言われています。もっと色々なことができると思っています。

・耕作放棄地を再生して無農薬無肥料農業の活動をSNSにの

せると、「200いいね」がつきます。その先の農業をやってみたい人、移住したい人をターゲットに、農業体験や醍醐味を話したりしていきたいです。大月市の魅力は販売先になる東京に近く輸送コストがかからないことです。6次産業化も夢ですが、みんながやってきたことや品種を合わせて地域で推せばブランド化され生産量がまとまってくる。米と大豆の品種を統一して大月市の特産品にしていきたいなど小さな野望をもっています。



改修中の大黒屋2階 (10月11日現在)

こんな事が決まりました

9月1日～9月28日（28日間）

今定例会の議案



市長提出

- 報告・・・・・・・・・・1件
- 条例案件・・・・・・・・・・3件
- 補正予算案件・・・・・・・・4件
- 決算認定・・・・・・・・・・8件

議会提出

- 請願・・・・・・・・・・1件
- 意見書案・・・・・・・・・・1件

主な議案の内容

条例

◎大月市印鑑条例中改正の件

印鑑登録証明書の
コンビニ交付が開
始されます

マイナンバーカードを使用し、コンビニの多機能端末機の操作により、印鑑登録証明書の交付ができるよう改正を行いました。

報告

◎令和4年度大月市一般会計補正予算（第5号）

○公共施設感染症対策事業
308万6千円

予算（補正）

◎令和4年度大月市一般会計補正予算（第6号）

○生活困窮世帯緊急生活支援金給付事業
1,940万円

○がんばろう大月キャッシュレス決済還元事業
3,360万円

○がんばろう大月事業復活応援金事業
2,000万円

○ふるさと教育推進事業
390万円

○災害対策事業
470万円

◎令和4年度大月市一般会計補正予算（第7号）

○電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業
2億200万円

○新型コロナウイルスワクチン接種事業
6,532万1千円

○富浜公民館建設事業
400万円

請願

◎加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

○趣旨の必要性を認め、全会一致で採択され、関係省庁へ意見書を提出することになりました。

常任委員会の様子

総務産業常任委員会

キャッシュレス決済還元事業について
(産業観光課)

Q 事業者の参入状況は。

A キャッシュレス化を進めるため、市内事業者に対し事業への参入の依頼を行い、対象店舗は160程に増えました。今後、さらに店舗数を増やして頂けるよう取り組み、多くの市民の皆様、事業者の皆様に、利便性や効率性を体験いただきたいと考えております。

ふるさと納税について
(企画財政課)

Q 昨年と比べて今年度の状況は。

A 概ね8千万円となって

おります。昨年度は9月の時点で2億5千万円程でしたので、例年と比べてかなり低い状況です。

Q 共通返礼品のモモヤブドウが扱えなくなった影響か。

A 一部、各市町村との協定を結ぶことで扱えることにはなっていますが、シャインマスカットが扱えなくなったことが一番の要因です。

Q 共通返礼品の取り扱いについて県に要望が必
要と考えるが、協議の
状況は。

A 県内13市の市長と知事との意見交換会の中で、今後は各市町村と協議をしていくと聞いております。また、県が開発した返礼品を市町村でも使える様な方向でお願いしたいと要望をしたところです。今後

も市長会などの場を通じて、働きかけをするとともに、今後の対応を注視していきたいと考えております。



大月市ふるさと納税返礼品

社会文教常任委員会

生活困窮世帯緊急生活支援金給付事業について
(福祉介護課)

Q 6月に予算計上した世帯数の見込から今回どのぐらいの追加になったのか。

A 6月定例会では2,100世帯、今回、見直しの精査の中で3,4

00世帯としました。

Q 3ヶ月で1,300世帯が増加した要因は。

A 手続きの中で、数字の誤りを確認し、今回の補正予算で追加させて頂きました。

Q 数字の誤りで、申請の遅れが発生するなど、市民にご迷惑をお掛けしていないか。

A 申請の遅れやスケジュールに遅れが生じるなどはなく、給付ができております。

Q 誤りが発生した要因は。

A 事業者がデータを抽出する中で、数字のミスが起こったと認識しています。その確認が不十分な中で、予算を計上してしまいました。今回の件を肝に命じ、改めて職務に邁進してまいります。

教科担任制について
(学校教育課)

Q 県の指定を受けたとのことだが、どのような事業を行うのか。

A 教科担任制の推進にあたり、猿橋中学校区が推進校として山梨県から指定を受けました。猿橋中学校、七保小学校、鳥沢小学校、猿橋小学校の4校において、費用が県から交付され、研究、研修を行います。



令和3年度決算を認定！



委員長
志村和喜



副委員長
萩原剛



副委員長
奥協一夫

付託されました8案件を審査するため、9月21日、22日、26日の都合3日、委員会を開催いたしました。審査の経過といたしましては、監査委員から決算の概要について、説明を受けた後、課等部署別の審査とし、担当部課長等から説明を求め、慎重に審査を行いました。審査終了後、各決算認定別に採決を行い、「認定第1号令和3年度大月市一般会計歳入歳出決算認定の件」から「認定第5

令和3年度決算審査特別委員会 委員長報告

号令和3年度大月市下水道特別会計歳入歳出決算認定の件」まで、及び「認定第7号令和3年度大月市介護サービス特別会計歳入歳出決算認定の件」並びに「認定第8号令和3年度大月市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件」について、全会一致で原案のとおり認定するものと決しました。

また、「認定第6号令和3年度大月市介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件」については、賛成多数で原案のとおり認定するものと決しました。

○審査の過程で出された意見

・事業仕分について
違った手法も検討するなど、市民への透明性を確保することを求める。

・ふるさと納税について

今後引き続き、創意工夫を図り、ふるさと納税の増額に向けて努めて頂きたい。

・閉校跡地活用について

魅力ある土地であるよう、適正管理を進めることを求める。

・公金管理

・公共施設Wi-Fi整備について
市民の利用者の利便性を考慮し、整備を進めることを求める。

大月市公金等取扱い適正化計画に基づき、各課等において問題なく管理されており、引き続き適正な状態を維持していくことを求める。

・消防広域化について
県東部地域の消防、救急体制を維持するためにも、消防の広域化に向けて努めて頂きたい。

*詳細については会議録にまとめてありますので、ご了承願います。

令和3年度大月市介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件に対する討論

◆反対討論(要旨)

大月市では65歳以上の方の約6割が住民税非課税ですが、介護保険料の年金天引きが生活圧迫の要因となり、不満の声が絶えません。さらに問題なのは、保険料が天引きされない年金月1万5千円以下の方のところで、少なくない保険料滞納者が生まれていることです。これに寄り添うより丁寧な保険料減免が対応されないのは問題だ。

藤本 実 議員

◆賛成討論(要旨)

介護保険事業は要支援者、要介護認定者数の増加、給付費の増加が想定される中で、サービスの充実と保険料を可能な限り抑制するバランスが肝要であり、中長期的な視野に立った計画的な運営が必要です。計画に基づいた適正な執行がなされたと認められることから、市は安定的な介護保険財政を図っていると考え賛成討論いたします。

棚本晃行 議員

決算審査特別委員会における主な論点 Q & A

事業仕分けについて

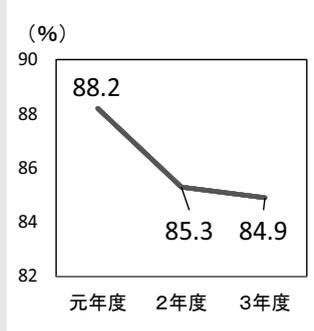
Q 事業仕分けの考え方や実施した成果、職員の意識の変化など、伺いたい。



A コンサルタント会社に委託することで、できるだけ早く事業仕分けのノウハウを吸収し、市民を巻き込んだ事業評価を確立できるようにしていきたいと思っています。PDCAサイクルの意識を持った職員の育成を図りたいという思いもあって、事業実施とお金を費やしているという認識であります。

経常収支比率の改善について

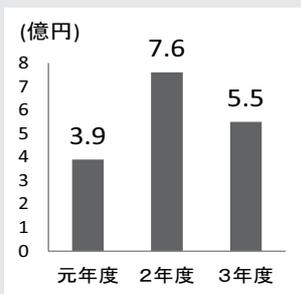
Q 経常収支比率は財政の弾力性を判断する数字でおおむね70～80%であれば適正で、80～90%であれば弾力性をやや欠くと。84.9%、もう一歩というところまで来ている。どう評価しているか。



A 経常収支比率は、交付税（依存財源）が増えているため改善しています。しかし市税は下がっているため依然として厳しい状況であります。

財政状況（ふるさと納税）について

Q 財政状況の数字は、ふるさと納税やコロナの臨時交付金があった中での数値だと思う。今後ふるさと納税が厳しくなる中で、どう考えているか。



A ご指摘のとおり今後非常に厳しくなると思う。現状他市に比べまだまだ数値は良くないのでやりくりが難しいと思うし、予算編成を厳しくしなければいけない。（寄付金：令和元年度3.9億円、2年度7.6億円、3年度5.5億円）

公共施設 Wi-Fi(ワイファイ) 整備について

Q 中央公民館にはWi-Fiが必要だと考えるが。



A Wi-Fiについては以前も質問をいただいております。まずは図書館への導入を考えているところです。利用者の利便性などから優先順位をつけて検討したいと考えています。

消防広域化について

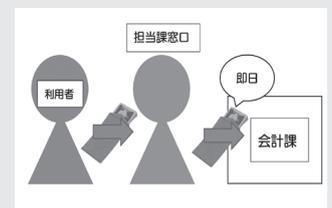
Q どの様に進めていくのか。



A 現在、富士五湖消防と訓練および火災原因調査を合同で実施しています。10年後のごみ処理施設の共同運用に向けて、郡内の消防広域化も視野に考えています。

公金管理について

Q 一昨年度問題となったシルバーお出かけパスの現金処理の事務の流れを確認したい。



A シルバー及び障害者お出かけパス利用者負担金の処理につきましては、これで2年目となりますが、3月中に利用者より預かりました現金は、納入のあった日ごとに毎回、令和3年度の雑入に入金し、年度当初には新年度の適正な科目に科目更生を行い、できる限り現金を保管しないような方法に変え、これを実施しています。

令和4年9月定例会 議決結果等一覧表

賛成○ 反対× 欠席— ※相馬保政 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩	奥	小	西	小	藤	山	相	鈴	安	志	棚	結 果
			原	脇	泉	室	原	本	田	馬	木	藤	村	本	
			剛	一	三	衛	丈	実	政	力	基	久	和	晃	
報告	専決第8号	令和4年度大月市一般会計補正予算(第5号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例	第38号	大月市職員給与条例中改正の件													可決
	第39号	大月市職員の育児休業等に関する条例中改正の件	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第40号	大月市印鑑条例中改正の件													
補正 予算	第41号	令和4年度大月市一般会計補正予算(第6号)													可決
	第42号	令和4年度大月市簡易水道特別会計補正予算(第1号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第43号	令和4年度大月市下水道特別会計補正予算(第1号)													
	第44号	令和4年度大月市一般会計補正予算(第7号)													
決算 認定	認定第1号	令和3年度大月市一般会計歳入歳出決算認定の件													認定
	認定第2号	令和3年度大月市大月短期大学特別会計歳入歳出決算認定の件													
	認定第3号	令和3年度大月市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第4号	令和3年度大月市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定の件													
	認定第5号	令和3年度大月市下水道特別会計歳入歳出決算認定の件													
	認定第6号	令和3年度大月市介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
	認定第7号	令和3年度大月市介護サービス特別会計歳入歳出決算認定の件	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第8号	令和3年度大月市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件													
請願	第2号	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
意見書	第5号	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	



代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

代表質問

(1) 志村和喜議員 (大月改新の会 & 公明) 10 ページ

- ① 梁川中学校跡地利用を出張所の建て替えと合わせて検討を
- ② 新庁舎整備基本構想の進捗状況は

(2) 山田政文議員 (大月改新の会 & 公明) 関連質問 11 ページ

- ① 初狩町富士見沢橋の整備方針は
- ② 旧富浜中学校の有効活用は

(3) 奥脇一夫議員 (山と川の街大月) 12 ページ

- ① 大月駅南側の工業団地の整備について
- ② 富士北麓地域の広域連携の更なる推進を

一般質問

(4) 藤本 実議員 (日本共産党 所属) 13 ページ

- ① 過去山梨大学に行った大月市の対応とは
- ② 山梨大学との連携強化へ小林市長の対応は

(5) 西室 衛議員 (大月改新の会 & 公明) 14 ページ

- ① 現状の定数は体制維持に支障はないのか
- ② キャッシュレス決済事業継続への考えは

(6) 棚本晃行議員 (山と川の街大月) 15 ページ

- ① 電話詐欺の被害防止へ更なる対策を

(7) 鈴木基方議員 (山と川の街大月) 16 ページ

- ① 自家消費型の農業をどのように収益につなげるか

市政を問う



市議会のページは
コチラから



大月改新の会 & 公明

志村 和喜

Q 梁川中学校跡地利用を出張所の建て替えと合わせ
て検討を

A 公民館、出張所の建て替えについて検討を進める

問 梁川中学校跡地利用を出張所の建て替えと併せて検討してみてはと
考えます。国道に面した条件のいい場所でもあり、入り口を含めた環境整備をすることにより、道の駅、企業誘致など様々な利用が考えられると思います。大月市内活性化につな

答 教育次長
梁川中学校跡地利用について、梁川出張所の建て替え計画と併せて検討しては
いかがかについてでありま
す。現在の梁川中学校跡地
には、梁川公民館に併設す

る出張所があり、今後につ
きましては、財政状況を勘
案しながら、公民館及び出
張所の建て替えについて検
討を進めることとしており
ます。
また、梁川中学校跡地を
有効に利用するためには、
入り口の環境整備等が必要
であり、企業誘致等の跡地
利用を考える中においては、
全庁的に検討する必要があ
ると考えております。



梁川出張所

Q 新庁舎整備基本構想の進
捗状況は

A 年内を目標に、基本構想
案を取りまとめる予定

問 新庁舎基本構想策定に
向けて動き出し6か月
になりましたが、現在の
進捗状況を伺いたい。

答 総務部長
6月には庁内の部課長等
を委員とする大月市庁舎建
設庁内検討委員会を立ち上
げ、7月に第1回目の検討
委員会を開催し、庁舎整備
に必要な調査検討を開始い
たしました。この検討会を
受けまして、7月下旬には
市民1、500人を対象とし
たアンケート調査を実施し
、現在、集計作業を行っ
ております。この結果等を
踏まえ、2回目の検討委員
会を今月下旬に開催する予
定としております。
今後の予定につきましては
は、年内を目標に、市民の
利便性、法規制、建設に要
するコスト、経済効果など
の比較検討を行い、候補地
を3案程度までに絞り込ん
だ基本構想案を取りまとめ
、年明けにはパブリックコメ
ントを行い、市民の皆様の
意見を伺う予定でおります。
また、来年度には、基本
計画を進める中で有識者や
市民の代表等で構成する外
部審議会を立ち上げ、候補
地等について諮問し、候補
地を1か所に選定したいと
考えております。



大月改新の会&公明

山田 政文

Q 初狩町富士見沢橋の整備方針は

A 早急に計画を進めたい

問 初狩町藤沢地区につながる富士見沢橋は、91年という長い期間、地域住民のためにこの橋が使われてきました。今まで豪雨にも、また地震にも耐えて今日まで来ました。そこで市長にお答えいただきたいのですが、老朽化が進んでいることから

ぐにでも架け替えるべきだと考えますが、まずは調査設計、測量、こういった費用の予算化を提案いたしますが、いかがでしょうか。

答 市長

富士見沢橋架け替えについては、老朽化しているこ

とから、概略ルート案などを作成しており、早急に計画を進めたいと思います。今後、地域の皆様と十分に協議を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



初狩町富士見沢橋

Q 旧富浜中学校の有効活用は

A 有効な活用方法を検討する

問 富浜中学校が2016年に閉校して6年半たちました。校舎は耐震基準を満たしているということなので、現状でも使用することができそうです。現在校舎などはどのように使われているのか、また今後どのように活用していくのか、今後の見通しについて説明願います。

ておりますが、コロナ禍のため研修事業は行わずに、軽作業を行っており、地元の方3名のほか、2名の障害のある方を週3回ほど雇用しているそうです。また、校舎2階の音楽室は地元のコラス団体に、3階の図書室は、駅南自治会にそれぞれ貸しております。

このほか、運動場や体育館も貸し出しており、主にスポーツ少年団が使用しております。なお、今後の見通しにつきましては、公募も含め有効な活用方法を総合的に検討してまいります。

答 教育次長

校舎の1、2階を国内に約90店舗の焼き肉店を展開する東京の株式会社FTGカンパニーに社員研修等を目的として、本年4月10日から12月28日まで貸し出し



山と川の街大月

奥脇 一夫

Q 大月駅南側の工業団地の整備について

A 雇用の創出や企業誘致は積極的に取り組んでいく課題と認識している

問

大月駅周辺の工業団地の整備についてのうち、(仮称)大月駅南ニュータウン工業団地整備についてお伺いをします。今から約30年ほど前に、大月駅南側の菊花山を開発して、住宅地造成を行う大月ニュータウン計画がありました。現在も人口減少が続く

答

産業建設部長

大月ニュータウン計画地による工業団地の整備につ

いてであります。議員提案の工業団地につきましては、働く場所、雇用の創出、人口対策として非常に重要だと考えております。また、平地が少ない本市といたしましては、大規模の平坦地には魅力を感じるところであります。しかしながら、莫大な事業費、造成計画、進出企業の有無、事業の採算性など、多くの課題があります。



菊花山からの富士山

Q 富士北麓地域の広域連携の更なる推進を

A 広域行政の発展的可能性を検討していく

問

今後、富士北麓地域とも連携を深めていく必要があると考えております。どのような連携が相互にとって有意義でしょうか。

答 市長

ります。地形的に見ても、いわゆる郡内地域の連携は重要であり、防災や観光においても連携を強化していく必要を感じております。いずれにいたしましても、本市は、富士吉田方面、甲府方面、小菅方面への分岐点に位置していることから、富士北麓・東部地域はもとより、広い視野を持つて広域行政の発展的可能性を検討し、引き続き幅広い分野において、近隣市町村と連携を図ってまいりたいと考えております。

今後、人口減少や厳しい財政状況が見込まれる中、本市の広域行政に対する基本的な考え方は、東部地域で構成する3市3村をベースにしながら、各種事務や業務を共同で進めることで、効率的な行財政運営が図られ、経費の削減につながり、構成市村にとって互いに利益が受けられるものとなるので、広域連携は有用であ



藤本 実

日本共産党 所属

Q 過去山梨大学に行つた 大月市の対応とは

A 協力病院を山梨大学は 1年のみで変更した

問

大月中央病院は、県内他市の公立病院と違い長らく山梨大学からの常勤医師派遣を受けられずにきた。過去に山梨大学に対して行った大月市の対応のどこが問題で、どう反省したのか。

答

市長

病院長をはじめとする医師派遣を受けてきた大学病院は、平成16年度までは東京医科大学病院、平成17年度は山梨大学医学部附属病院、そして平成18年度からは東京女子医科大学病院となっておりまして。

病院長をはじめとする常

勤医師を派遣していただいていた協力病院を変えることは、多方面へ、さらに様々な配慮を必要とする中で、慎重に行わなければならないことでもあります。当時の本市は、この派遣先の大学病院を短期間に2回変更しており、山梨大学は1年のみで変更しております。このことが配慮に欠けており、今まで常勤医師派遣につながる連携の強化に至らなかったのではないかと推察いたしております。



大月市立中央病院

Q 山梨大学との連携強化へ 小林市長の対応は

A 山崎理事長のご理解が 非常に大きな要因

問

当時やむをえない事情があったものと推測するが、医師や医療関係者に敬意を払うこと、ぞんざいに扱うべきではないという考えを厳しい局面において貫けず、不信を買ったのではないか。その相手ともう一度握手ができるようになった。小林市長はどのような対応をしたか。

答

市長

初代理事長である佐藤先生が理事長職の継続が困難となり、法人設立から理事、副理事長を歴任していただいております山崎理事長

に令和2年11月からその席を後継していただきました。山崎理事長は、新型コロナウイルス感染症に対して、県内病院では特に早い時期から積極的に対応をされており、県内の病院としてはもとより医師としても信頼されており、病院長としても県内各病院長との関係も深められておりました。

このような背景の中で、山梨大学医学部附属病院への連携強化のお願いをできる時期、タイミンが訪れてくれたものと感じています。いずれにいたしましても、理事長派遣に至る背景には、山崎理事長のご理解が非常に大きな要因であったと考えております。



大月改新の会 & 公明

西室 衛

Q キャッシュシュレス決済事業 継続への考えは

A 本事業の継続が有効であると考ええる

Q 現状の定数は体制維持に 支障はないのか

A 消防職員の定数見直しが必要と考えている

となっております。

次に、コロナ禍等、現状の定数で体制維持に支障がないのかについてであります。新型コロナウイルス感染症及び熱中症と見られる救急搬送が53件あり、出動全体の約2割を占めました。災害に出動する部隊の数、人員及び派遣・出向職員数は増加しており、現状の条例定数ではこれらの増加分等を考慮していないため、対応が難しい事案も発生しております。このことから、消防職員の定数の見直しは必要であると考えております。

問

がんばろう大月キャッシュレス決済還元事業について伺います。

1点目に、市民の皆様はキャッシュレス決済利用に戸惑いはないのか。また、事業者の決済事業の受け止めは。

2点目に、事業者からは事業の継続を求める意見があるが、当局の事業継続への考えは。

援として、市役所に相談窓口を設け、サポートを実施し、利用時の不安解消などに対応したところであります、市内の事業者からは売上げの増加、市内外の利用者の増加、新たな顧客の開拓につながったとの話を伺っております。

次に、事業継続への考えはについてであります。普及したキャッシュレス決済のさらなる推進のため、本事業を継続して実施することが有効であると考えております。

答 市長

市民及び事業者の反響はについてであります。市民の皆様を対象にキャッシュレス決済の利用が初めてである、スマートフォンなどの支

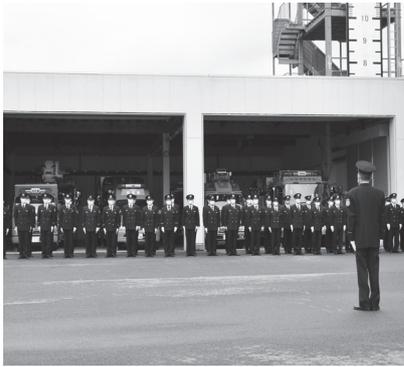
問

大月市消防本部体制強化について伺います。
1点目に、消防職員の条例定数及び実員数は。
2点目に、コロナ禍等、現状の定数で体制維持に支障はないのか。

答 消防長

市消防本部体制強化につ

いてのうち、初めに消防職員の条例定数及び実員数についてであります。消防職員の定数は69名であり、現在の職員数は67名であります。しかし、山梨県防災局消防保安課へ1名、救急救命東京研修所へ1名、山梨県消防学校初任総合教育課程へ7名を派遣していることから、実員数は58名



消防職員



山と川の街大月
棚本 晃行

Q 電話詐欺の被害防止へ 更なる対策を

A 電話詐欺抑止装置の活用 により対策を強化してい く

問

電話詐欺の被害者は高年齢者が主であることから、高齢化率の高い本市では更なる詐欺被害を防ぐ対策を講じていく必要があると考える。今後被害防止対策にどのように取り組んでいくのか市の見解を伺う。

答 市民生活部長

本市の電話詐欺被害件数は、令和3年が6件、被害額653万円となっており、前年と比較して被害額では100万円増加しております。また、アポ電件数は、被害に遭わなかった方も含めた大月警察署への届出件数では、令和2年が43件、

令和3年が65件と増加しており、実数はもつと多く、心配される状況にあると認識しております。令和4年8月までの状況ですが、被害件数5件、アポ電件数が20件となっております。

現在、高齢者の居住世帯を対象に、電話詐欺等抑止装置の無料貸出しや、大月警察署からの依頼によるLINEや防災無線による注意喚起を行っております。

電話詐欺等抑止装置につきましては、通話録音機能が設定されており、電話の相手に録音されることを通知しますので、被害防止につながるものと考えております。

高齢者が安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現を図るため、令和2年3月には、大月市と大月警察署との相互連携に関する協定書を取り交わし、さらに電話詐欺等抑止装置の普及、活用方法を周知することにより、電話詐欺対策を強化してまいります。

問

県内他市町村の被害件数と比較して本市の状況は。

答 市民課長

山梨県内の被害件数状況は、令和2年が71件、令和3年が56件となり、うち大月市の被害件数がそれぞれ6件となっており、被害者全員が65歳以上の高齢者であります。

また、令和3年の状況で言いますと、甲府市、甲斐市に次いで大月市は3番目となり、割合は高いものと認識しております。

手口についても年々巧妙かつ悪質化しており、預金口座への振込をさせたり、現金等の手渡しやコンビニなどでギフトカードを購入させる被害が発生しており、市としても被害に遭わないためにどういった対策が必要なのか、大月警察署との連携を強化し、啓発活動に取り組んでまいります。

振り込め詐欺にはご注意ください！



その他の質問

問 新たな総合計画の作成を判断した経緯や考えは

問 ワークেশヨンの推進や施設の活用の狙いは

問 ワークেশヨンの推進の体制は

問 桂川の洪水浸水想定区域図の公表を受け市民への周知や対策は



山と川の街大月
鈴木 基方

答 市長

Q 自家消費型の農業をどのように収益につなげるか

A 農産物「大月ブランド」化育成支援事業を創設

石井食品の大月市産タマネギを使ったハンバーグ用のタマネギにし、自家消費型の農業をどのように収益につなげていくか、当局の考えは。

がんばろう大月キャッシュレス決済還元事業について、市外、県外からの来訪者による消

費の拡大など、好調にスタートしたと言えるが、この流れを一過性のものとするのではなく、東横イン富士山大月駅の顧客も含め、リピーターとして本市に再び訪れていただき、市内経済のさらなる活性化につなげるべき。

今年で7年目を迎えました大手食品メーカーであります石井食品株式会社の大月市産タマネギを使ったハンバーグの取組については、今年度当初に市内のタマネギ生産者で立ち上げた組織である大月市玉ねぎ研究会の会員の皆様を中心とした努力によりまして、例年を上回る約7トンのタマネギが出荷されました。

市では、本年度より農産物「大月ブランド」化育成支援事業を創設し、生産者購入事業者、大月市の連携強化を図り、生産及び販路の拡大などを目的とした助成金制度も設け、大月市産タマネギのブランド化を推進するための取組を開始したところであります。

今後ともタマネギの生産を中心として、他の農作物生産にも波及をし、市内の農業振興及び農業の付加価値化等を図られるよう、引き続き農作物ブランド化の取組などの支援を行ってまい

答 産業観光課長

りたいと考えております。がんばろう大月キャッシュレス決済還元事業につきましては、市民はもとより市外、県外からの来訪者による消費行動の拡大など、コロナ禍で落ち込んだ消費喚起、また新しい生活様式として認知されつつあるキャッシュレス決済導入店舗の増加とともに、利用者の関心、認知度も上がってきております。

このことから、さらなる地域活性化につなげるため、キャッシュレス決済還元事業第2弾の実施に向けた経費を本議会に補正予算として提案しているところであります。第2弾事業実施の際には、現事業の対象店舗や限度額設定などを工夫し、より消費者に寄り添った事業内容での検討を進めてまいりたいと考えております。

今回の事業は、ポイント還元効果により、集客効果とともに顧客単価の上昇等効果があったと考えております。

PayPayとも相談する中で、各店舗で有効な活用方法を検討していただければと思っております。また、市においてもPayPayとも連携する中で、必要な情報提供などを行ってまいります。

再質問

問 キャッシュレス決済還元事業終了後の効果的なポイント活用策は。



大月市産タマネギの出荷の様子

大月市議会だよりについてアンケートを実施します！

大月市議会では議会情報をより分かりやすく提供するため、議会だよりのアンケートを実施いたします。アンケート結果については次号に掲載予定です。

アンケートには大月市公式LINE、QRコード、FAX、郵送（切手等は自己負担となります）、もしくは出張所や市役所へこのページを持ち込むことで回答できます。

（公式LINEを友達登録済みの方は12月第2週ごろにメッセージが届きます。）



回答フォーム

*あてはまるものに○をしてください。

1：あなたの年代を教えてください。

10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上

2：本市とのかかわりについて教えてください。

市内在住・市外から通学・市外から通勤・その他

3：「市議会だより」（年4回発行）を読んでいますか。

必ず読んでいる・時々読んでいる・ほとんど読んでいない

4：3で「ほとんど読んでいない」と回答された方に伺います。読まない理由は何ですか。（複数回答可能）

興味が無い・内容が分かりにくい・堅苦しそう・どこで閲覧できるのか知らない

5：紙面構成や内容（文章・見出し・写真等）の印象はいかがですか。

良い・普通・良くない

6：「市議会だより」の掲載内容で特によく読まれるページは何ですか？（複数回答可能）

特集記事（意見交換会）・こんなことが決まりました（議決議案ページ）・常任委員会の様子
議決結果一覧・代表質問／一般質問・議会日誌（編集後記）

7：議会情報を何で得ていますか。（複数回答可能）

議会だより・CATVの放送・議会を傍聴・議員から・市のホームページ・得ていない

8：その他「市議会だより」についてご意見・ご感想があれば自由にお寄せください。（自由記載）

FAX：0554-23-0321 回答期間：令和4年12月28日まで

議会日誌

あなたも 本会議を傍聴しませんか

8月（後半）

16日	議員定例懇談会
19日	令和4年第2回富士・東部広域環境事務組合議会8月定例会
25日	議会運営委員会

9月

1日	全員協議会
	令和4年第3回市議会定例会 開会
	決算審査特別委員会
14日	代表質問・一般質問
16日	総務産業常任委員会
	市議会広報委員会
20日	社会文教常任委員会
21日	決算審査特別委員会
22日	決算審査特別委員会
26日	決算審査特別委員会
28日	議会運営委員会
	全員協議会
	令和4年第3回市議会定例会 閉会

10月

11日	意見交換会（若手移住者と市議会）
18日	議員定例懇談会
27日	令和4年第2回山梨県後期高齢者医療広域連合議会

11月（前半）

2日	山梨県市議会議長会第268回定期総会
11日	令和4年大月都留広域事務組合議会11月定例会
15日	議員定例懇談会

市議会広報委員会からのお知らせ

市議会広報委員会では、市民の皆様に親しまれ、愛される紙面づくりに努めておりますが、さらに見やすく、読みやすい紙面づくりのために、市民の皆様の貴重なご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。
※コロナウイルス感染拡大の状況により自粛をお願いする場合があります。

12月定例会の日程（予定）

- 開会日 11月30日
- 代表質問 12月15日
- 一般質問
- 一般質問（予備日） 12月16日
- 閉会日 12月22日

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

今号の特集「移住者目線で大月市の魅力を見直し掘り起こす」、楽しんでいただけましたか。市議会としても大きな刺激を受けました。また、若手移住者の活動に興味を持たれた方はぜひお店に顔を出してあげてください。

本誌の紙面刷新を進めています。手に取りやすく、市政の課題がよく分かる紙面となるよう努力していきます。今号はアンケートをお願いしていますので、ご協力をお願いします。（担当 藤本 実）

Editorial note

発行 大月市議会
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp

市議会
広報委員会

委員長 棚本 晃行
副委員長 藤本 実
委員 西室 衛
委員 鈴木 基方
委員 安藤 久雄
委員 志村 和喜



この市議会だよりは、環境保護のため、再生紙・植物性インキを使用しています。